

映 画 論

統計課
統計指導グループ 香 山 俊

趣味は何かと質問されると、優等生的な返答であるが、いつも読書と映画と答えている。以前には一時期パチンコに凝ったこともあるが、いつかパチンコ学校は卒業(退学かもしれない)して全く疎遠になってしまった。読書の方は、最近、トルストイ、ツルゲーネフ、モーパッサン、スタンダール、ゾラ、メルヴィル、ヘミングウェイ等々、外国の19世紀から20世紀にかけての、所謂文豪と称される作家の作品を読んでいる。やはり長年読み継がれ人口に膾炙した名作だけあってずりとした重みがあり大いに読みごたえがある。しかし、今回は読書についてではなく、もう一つの趣味の映画について書きたいと思う。映画といっても、劇場で鑑賞したのは巨匠黒沢明監督の「乱」が最後で、現在は専らビデオで映画を鑑賞している。幸い徒歩で5分という至近距離にビデオレンタルショップができたので、殆んど毎週と言っていい位に借りてきて楽しんでいる。店には、洋画・邦画・名作・アクション・アニメ・ホラー等々種々のコーナーがあって、何百(何千かもしれない)というビデオが配架されている。その中で私が観ているのは、洋画の名作コーナーの作品である。会員になってから既に1年半位になるので、正確には数えていないが70本前後は観ているのではないだろうか。名作コーナーと銘うってあるだけ、そこにあるのはアカデミー賞・カンヌ映画賞その他権威のある作品賞や監督賞、音楽賞、脚本賞、主演男優女優賞等を受賞した名作ばかりである。紙面の都合でとてもすべては紹介できないので、ほんの一部だけを紹介したいと思う。感動した作品を記憶しているままに書くだけで、私のよかったと思う順位でもなく、勿論、私の選んだベストテンといったものでもない。以下、羅列になり御存知の方もいるかもしれないが紹介したい。キャロル・リード監督の「第三の男」。ストーリーも無

論よかったが、アントン・カラスのチター演奏が素晴らしい映画だった。それに、主役のジョセフ・コットンより傍役のオーソン・ウェルズの演技が光る印象的な映画でもあった。「風と共に去りぬ」。これはビビアン・リーの美貌が全盛を誇る彼女のための彼女の映画の観があった。カラーの画面も美しく、ララのテーマ音楽もいつまでも心の底に残っている。ジョージ・スチーブンスンの「シェーン」。「シェーン、カムバック!」のラストシーンが余りにも有名だが、どちらかというところ不器用と言われていたアラン・ラッドが一世一代の名演技を披露した。1人で3人を倒す酒場での決闘シーンは圧巻だった。また西部劇になるが、ウィリアム・ワイラーの「大いなる西部」。これは題名どおり西部の雄大さを象徴するような映画でグレゴリー・ペックとチャールトン・ヘストンの殴り合いが延々と続いたのが強く印象に残っている。ジョン・フォードの「荒野の決闘」。保安官ワイアット・アーブとクラントン一家の対立抗争がストーリーの中心だが、ワイアットをヘンリー・フォンダが演じて、迫力のある見事な演技を見せた。「オーマイダーリン、クレメンタイン」のテーマ音楽は日本で「山男の歌」となって流行った。「OK牧場の決闘」は「荒野の決闘」と同じ内容の再映画化だが、こちらはバート・ランカスターがワイアットを演じて、ヘンリー・フォンダとはまた一味違った味を出していた。フレッド・ジンネマンの「真昼の決闘」は、ゲーリー・クーパーの迫真の演技とグレース・ケリーの気品のある清楚な美しさが光り輝き、また音楽「ハイヌーン」も強烈な印象を残している。紙面の関係で7本した紹介できなかったが、これらの外にも感動した映画は数多くあり、またこれからもビデオショップがある限り毎週借りてきて観たいと思っている。

【新着資料案内】  【新着資料案内】

この資料は、平成元年8月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。

閲覧室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		昭和63年 茨城県消費実態調査結果報告書	統計課
消費物価指数年報 昭和63年	総務庁	平成元年度 学校基本調査速報	〃
家計調査年報 昭和63年	〃	茨城県の人口(町丁別) 平成元年4月1日現在	〃
昭和63年貯蓄動向調査報告	〃	第14回 社会福祉施設職員実務研究会発表会入選作品集	社会福祉課
住民基本台帳人口移動報告年報 昭和63年	〃	茨城県の水道 昭和62年	水道計画課
昭和63年保健所運営報告	厚生省	ACTIVE 21 プラン —中小企業振興のために—	工業振興課
昭和63年衛生行政業務報告	〃	ふるさとの散歩道	観光物産課
昭和63年牛乳乳製品統計	農林水産省	茨城の園芸	流通園芸課
食糧管理統計年報	食糧庁	米穀流通関係資料	〃
昭和62年工業統計表 用地・用水編	通商産業省	茨城県における生鮮食料品流通の現況	〃
昭和63年特定サービス産業実態調査結果速報	〃	平成元年第2回 茨城県議会定例会会議録	茨城県議会
昭和63年エネルギー生産・需給統計年報	〃	県内市町村関係	
昭和63年紙パルプ統計年報	〃	行政資料目録 平成元年4月末現在	水戸市
昭和63年繊維統計年報	〃	日立市の統計 1989	日立市
貿易業態統計表	〃	都道府県関係	
昭和63年運輸関係エネルギー要覧	運輸省	福島県の統計年鑑	福島県
毎月勤労統計調査年報 昭和63年	労働省	昭和63年における群馬県の賃金・労働時間及び雇用の動き	群馬県
昭和62年建設工事施行統計調査報告書	建設省	学校基本調査速報 平成元年度	東京都
道路統計年報 1989	〃	統計からみた神奈川県経済の動向 昭和63年度版	神奈川県
民間給与の実態	人事院	昭和63年 静岡県工業統計調査結果速報	静岡県
気象年鑑 1989年版	気象庁	統計からみた大阪のすがた	大阪府
茨城県関係		和歌山県の商業 昭和63年	和歌山県
清らかな水のために霞ヶ浦	霞ヶ浦対策課	各種団体	
みんなのみずうみ 1989	〃	放送受信契約数統計要覧	日本放送協会
霞ヶ浦総合開発 1989.3	〃	昭和63年 機械産業における国際分業化に伴う国内産業への影響分析に関する統計研究報告書	(財)機械振興協会 経済研究所
今後の環境研究の課題と展望 創立20周年記念講演	公害技術センター	'89 原子力発電	(財)日本原子力
茨城県宗教学人名簿 平成元年3月	総務課	わが国の道路	(株)わが国の道路社
茨城県行政組織等規程集 (平成元年5月1日)	人事課		
茨城県市町村概況 63年度版	地方課		
やくしん 茨城県政白書'88	企画調整課		
茨城県の水利用	水・土地対策課		

経 済 動 向

国内の動き

●設備投資、4.9%の増額修正

景気の拡大を背景として、企業の設備投資に一段と弾みがついてきた。日本経済新聞社が8月13日にまとめた1989年度の民間設備投資修正計画調査(8月1日時点)の中間集計によると、回答企業1043社の国内投資額(工事ベース)は前年度実績に比べて13.1%の大幅増となる。今年2月時点

の当初計画では同7.8%の増加だったが、製造業各社の増額修正が大きく、2年連続して2ケタ台の伸び率となった。

鉄鋼、化学、紙・パルプなど素材産業に加え、機械、建設、電力など積み増しは幅広い業界に及んでいる。

(日経 8月14日付)

●“G7”でドル高是正要請

政府・日銀は、28日の東京外国為替市場で円相場が約2ヵ月ぶりに1ドル=144円台まで下落したことを重視し、9月下旬にワシントンで開く7ヵ国蔵相会議(G7)など一連の国際通貨、金融会議の場で米欧各国にドル高是正の必要性を訴えていく方針を固めた。為替相場はこのところほぼ一貫してドル高・円安傾向が続いており、これ以上ド

ル高が続くと日米間の貿易不均衡改善に水を差すだけでなく、日本の国内物価にも悪影響を与えかねないと警戒している。ただ、「米国は現在のドル高を許容範囲内と考えている」(都市銀行)との見方もあり、G7でドル高是正が明確に打ち出されるか疑問視する向きも少なくない。

(日経 8月29日)

●日本の国民資産、米を抜く

日本は国民資産規模で米国を抜き、世界一になったことが明らかになった。日本の国民資産は87年末に43兆7千億ドルに達し、米国(36兆2千億ドル)を初めて上回った。

85年末には米国と11兆ドル強の差があったが、その後の円高による名目的な資産の増加に土地や株式の大幅な値上がり加わったため一挙に逆転した。現在の実勢レートで換算しても日本の優位は動かない。国民資産の規模は「金

融パワー」に直結しており、国際金融市場における邦銀のシェア拡大などに表われている。日本は「債権大国」としてばかりでなく、「資産大国」としても注目を浴びるが、異常な地価の高さ、株高の背景にある株式の持ち合いなど米国は9月から始まる日米構造協議で対日批判を強めそうだ。

(日経 8月21日付)

県内の動き

●人口1,200の“学者村”。整備

茨城県の筑波研究学園都市周辺に、研究者や学者などの生活に合った住宅団地の整備を――。茨城県住宅供給公社は来年度前半の造成工事着手を目標に、通称「学者村構想」を進めている。学園都市の住宅不足解消策の一環だが、知

的集団のニーズに合った住宅を供給することで地元への定住を促進し、県外への「頭脳流出」を防ぐというねらいもある。研究者、学者などに対象を絞り込んだ住宅開発は全国でも珍しいという。(日経 8月24日)

●圏央道の基本計画決まる

東京都心から40~50キロ圏にある核都市を環状に結ぶ高規格幹線道路、首都圏中央連絡自動車道(圏央道、横浜市―千葉県木更津市間)の160キロ区間に関する基本計画が8日決まった。今回計画が決まった区間のうち、北関東関連の39キロは常磐自動車道(茨城県つくば市)と東関東自動車

道(千葉県大栄町)の両高速道を結ぶもので、うち茨城県内は約29キロ。つくば市、茎崎町、牛久市、阿見町、江戸崎町、東村、河内村の7市町村を通過する予定。茨城県では沿線の土地利用計画をにらみながら、早期に都市計画を決定する意向だ。(日経 8月9日)